

報道関係者各位

2017年7月28日

株式会社Aカードホテルシステム

『出張ビジネスマンの実態』調査結果 ～民泊の出張利用は2%に留まる～

全国で独立系ホテルのキャッシュバックポイントカード運営を手掛ける、株式会社Aカードホテルシステム(本社:東京都千代田区、代表取締役:田中章生)は、同社が運営する「Aカードホテルネットワーク」(<http://www.acard.jp/>)の会員に対し、インターネットでのアンケートを実施。「出張ビジネスマンのホテル利用実態に関するアンケート」と題して、2017年6月26日(月)～7月3日(月)の一週間に渡って、調査を実施いたしました。

調査概要	回答者属性
調査機関:株式会社Aカードホテルシステム	回答者数:3,611人(内83.7%が「出張する」と回答)
調査方法:インターネットアンケート	性別:男性93.2% 女性6.8%
調査目的:出張ビジネスマンの実態	年齢:30代10.9%、40代32.4%
調査期間:2017年6月26日(月)～7月3日(月)	50代35.0%、60代18.0%
調査対象:Aカード総会員約784千人(2017年6月末時点)	職業:会社員88.1%、公務員1.4%、自営業5.3%

今回のアンケートは、出張ビジネスマンがターゲットであるAカードホテルシステムの会員約80万人を対象に実施。3,611人が回答し、その内83.7%が「出張する」と回答している。

まず、回答者のメイン属性は、30代から50代を中心とした男性会社員だ。回答者のプロフィールを見てみると、業種は製造業が3割を占めている【グラフ(1)】。職種は「営業・販売」が26.3%で、次に「技術開発・設計」10.1%、「製造・生産・品質管理」が8.2%【グラフ(3)】。役職については「一般クラス」が23.4%と一番多いが、経営者クラスも10.9%占めており【グラフ(4)】、年収は、500万～600万が一番多く15.0%で、加重平均では586万円となっている【グラフ(5)】。

出張ビジネスマンの行動パターンも明らかとなった。「夕食はどこでとるか?」「お酒はどこで飲むか?」という問いに対しては、両方とも「ホテル近隣の飲食店」が約6割と半数以上を占めている【グラフ(10)(11)】。周辺飲食店MAPなど、ホテルフロントで分かりやすいご案内は喜ばれそうだ。その反面、朝食については「ホテルのレストランで食べる」が約7割を占めており【グラフ(12)】、朝食の内容や設備へ力を入れることは、ホテルの評価を上げるのに効果があるかもしれない。

今回の調査では、ビジネスホテル以外での利用についても聞いてみた。まず、出張での旅館利用については「利用する」と回答した人が22.9%【グラフ(13)】で、エリアによっては、温泉地・リゾート地が出張先となった場合、仕事後はよりリラックスしたいと考え、旅館を選択する人が多いようだ。「旅館を利用する」と回答した人の中でその決め手を聞いてみると、「大浴場」が30.1%と一番多くなっている【グラフ(14)】。ビジネスホテルでも大浴場を設けることは、他のホテルとの差別化にも有効かもしれない。

その他の宿泊施設での出張利用にも聞いている。まず、カプセルホテルについては「出張で利用したことがある」が20.9%であった【グラフ(15)】。近年のホテル宿泊費の高騰や、新しいタイプのカプセルホテルが増えたことが利用を後押ししているのではないだろうか。最後に、「民泊」の利用について聞いてみると、「利用したことがある」がレジャー利用では6.5%だったが、出張利用では2.4%に留まった【グラフ(16)(17)】。勢いを増す民泊だが、出張での利用は特

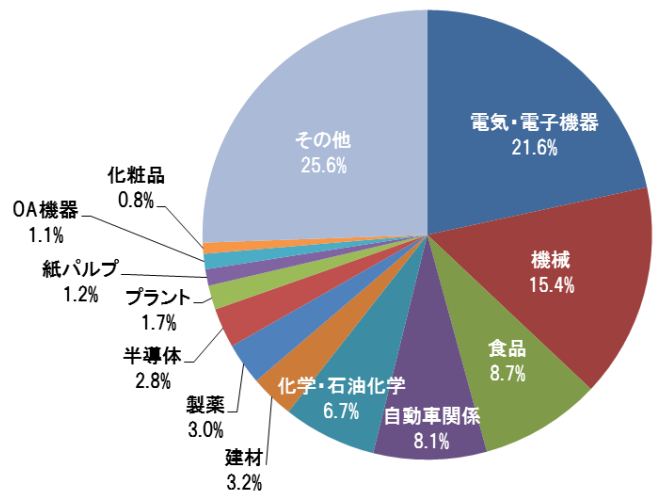
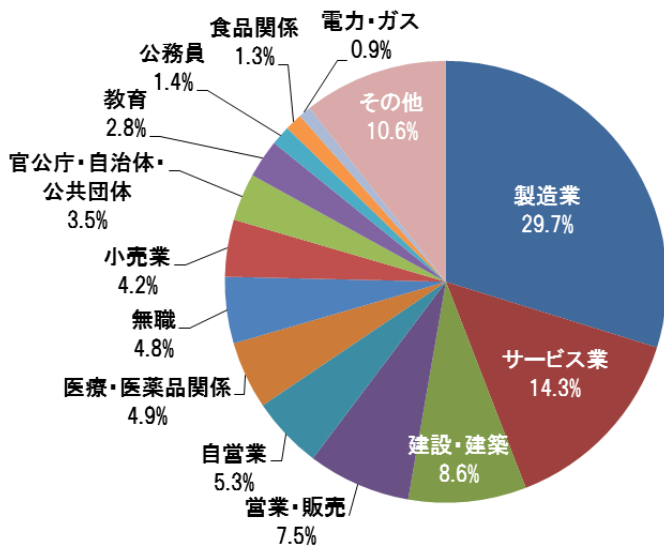
に浸透してはいないようだ。

ホテルにとっての競合は近隣ホテルだけでなく様々な形態の宿泊施設と、多様化している。安定した収益を支えるであろう「出張ビジネスマン」はリピート顧客として囲い込むべき重要なお客様層となりそうだ。Aカード会員1人あたりの年間宿泊数は、過去9年間の調査で平均37泊程度となり、好況時で40泊前後、不景気時でも30泊程度、出張に伴う宿泊需要があることがわかった。このことは出張ビジネスマンがホテルにとって、リピーター顧客としての有効な顧客属性であることを示唆している。Aカードは、今以上にホテル・旅館のリピーター獲得に欠かせない存在になるのではないだろうか。

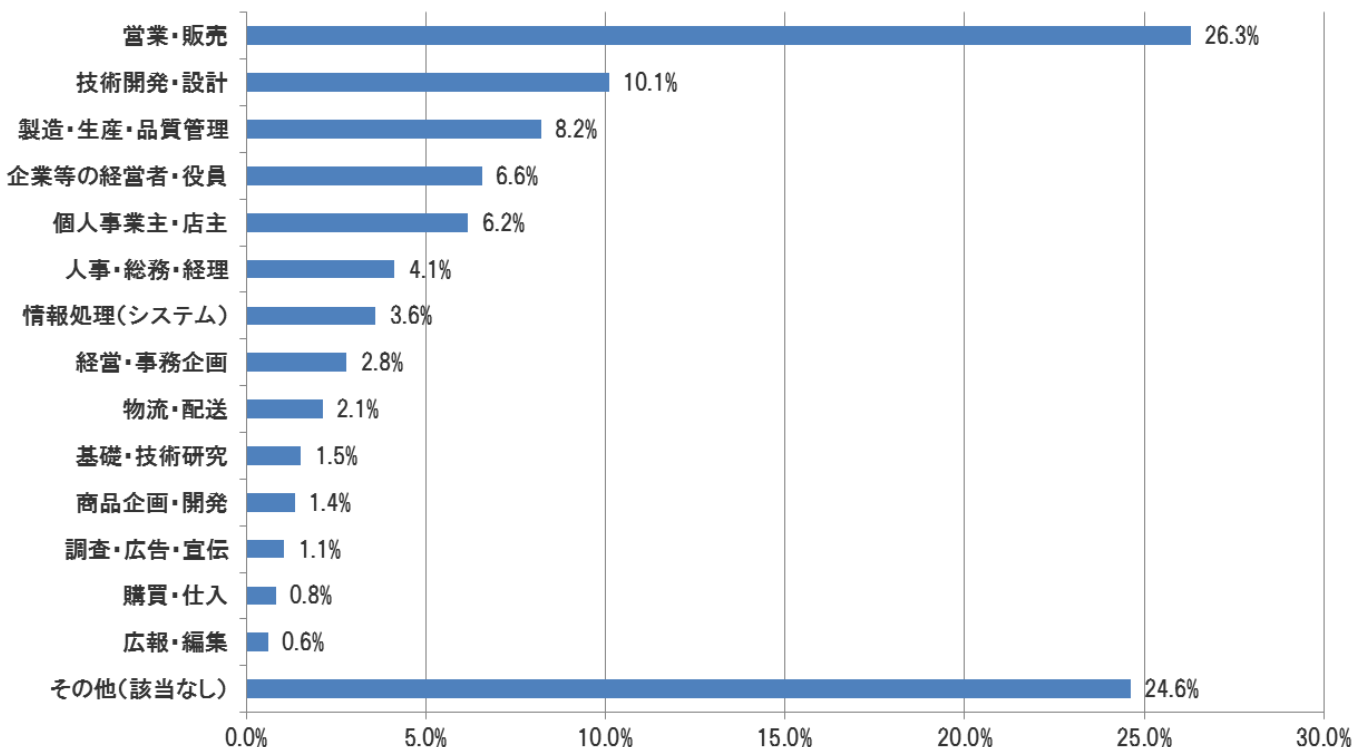
■回答者のプロフィール：有効回答者数

(1)勤務先(業種):3,611人

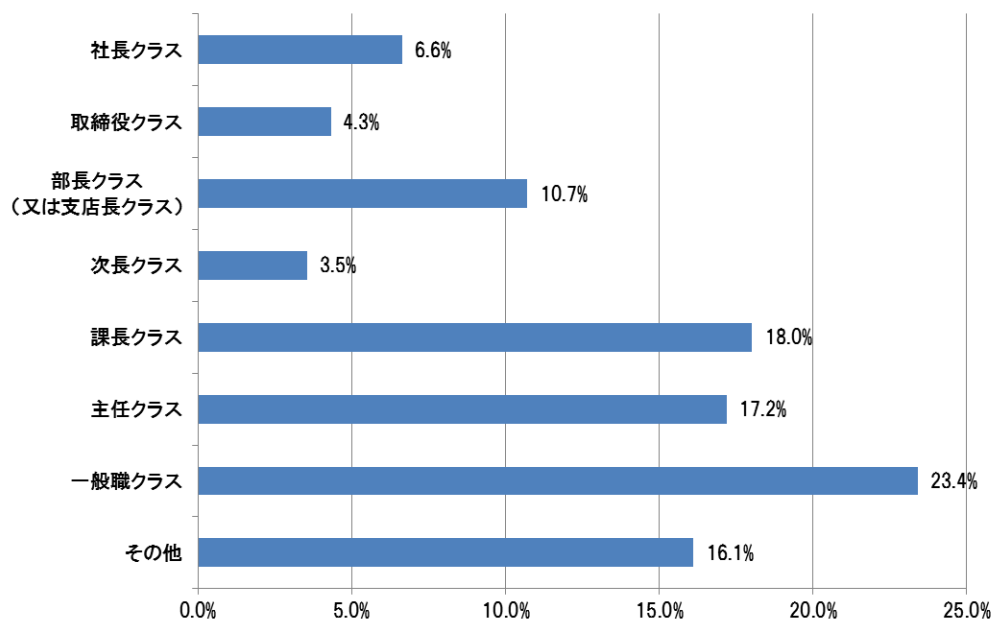
(2)(1)製造業の内訳:1,264人



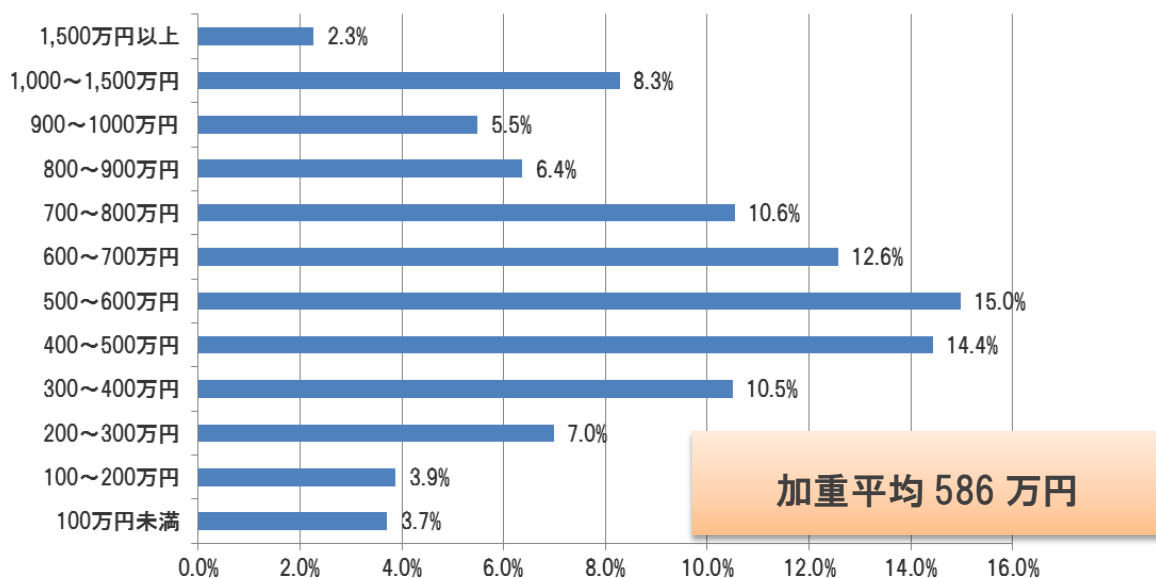
(3)勤務先(職業):3,611人



(4) 役職: 3,611 人

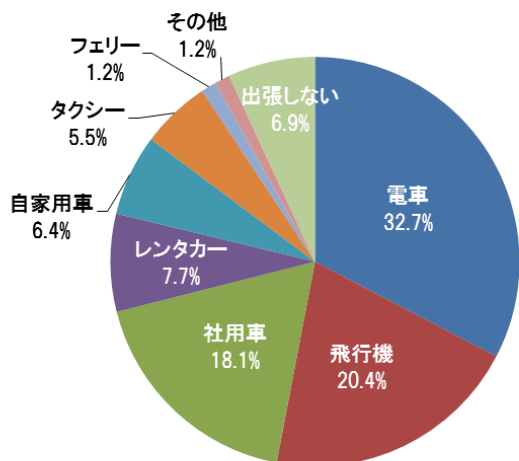


(5) 年収: 3,611 人

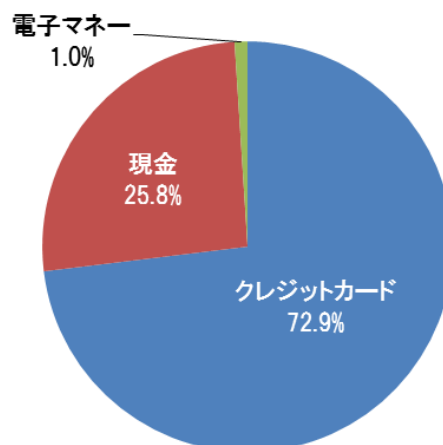


■ 利用実態: 有効回答者数

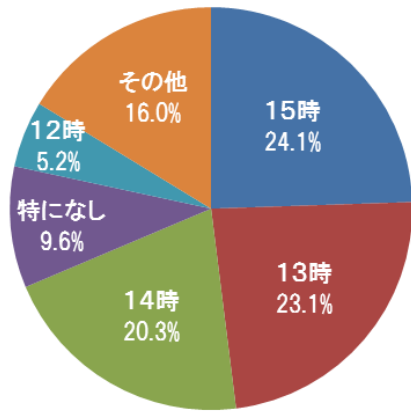
(6) 移動手段: 6,958 件 (複数回答可)



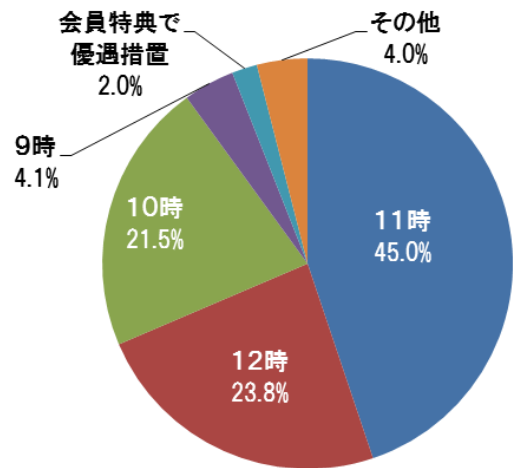
(7) ホテルでの支払い方法: 3,448 人



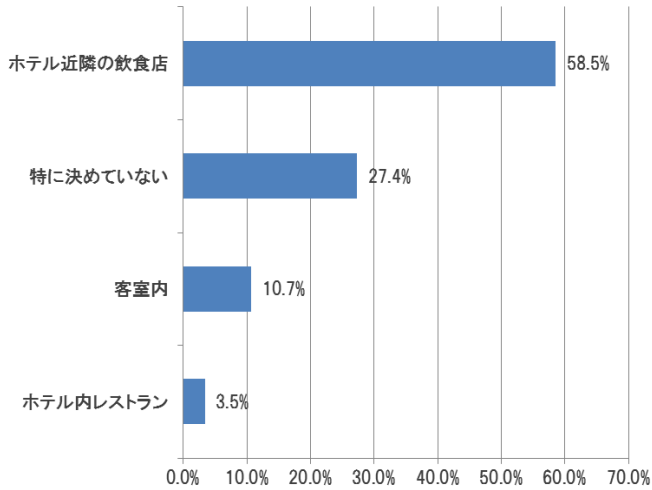
(8)理想のチェックイン時間:3,611 人



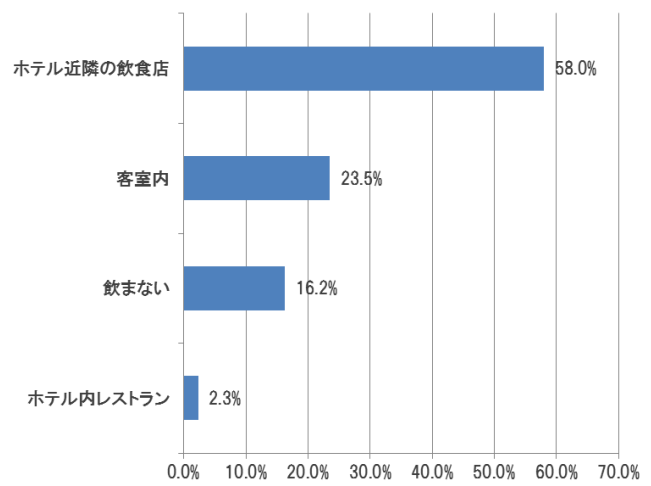
(9)理想のチェックアウト時間:3,611 人



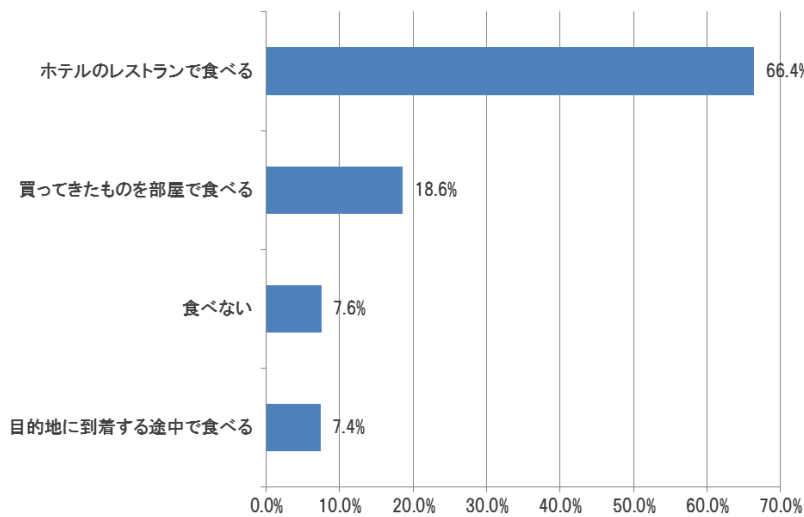
(10)夕食はどこでとるか?:3,611 人



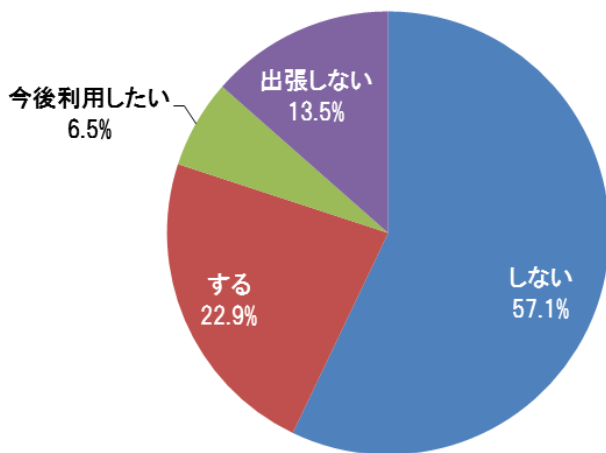
(11)お酒はどこで飲むか?:3,611 人



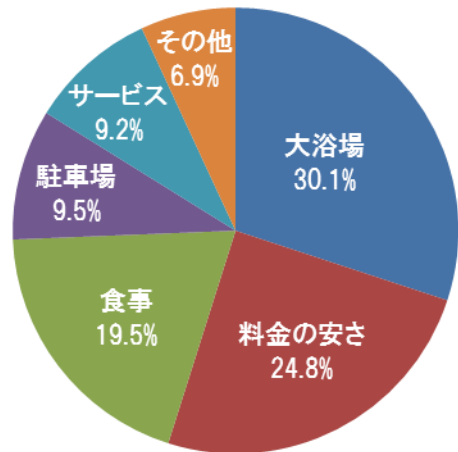
(12)ホテルでの朝食はどれが多いか?:3,611 人



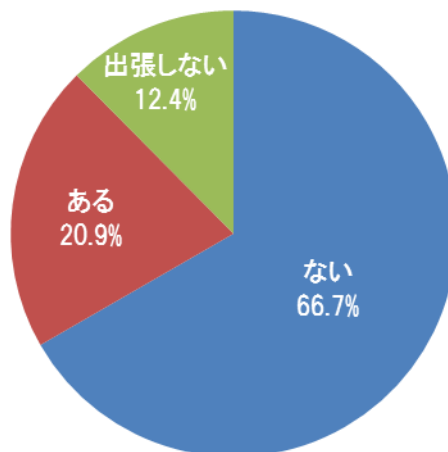
(13)出張で旅館は利用するか？:3,611 人



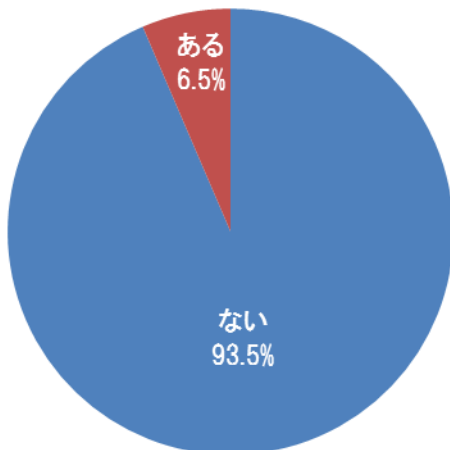
(14)旅館を利用する場合の決め手は？:2,372 件
(複数回答可)



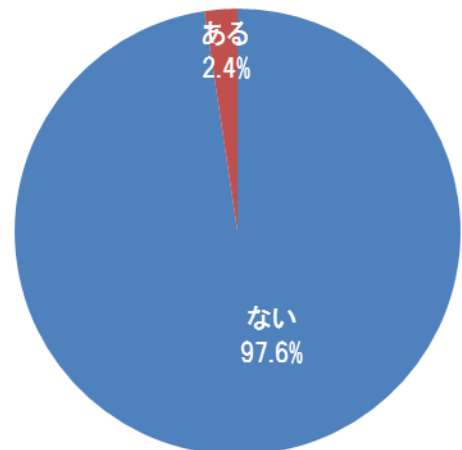
(15)出張でカプセルホテルを利用したことはあるか？:3,611 人



(16)レジャーで民泊を利用したことはあるか？:3,611 人



(17)出張で民泊を利用したことはあるか？: 3,146 人



■出張に伴う年間平均宿泊数（過去9年間の推移 / 有効回答者数:12,866人）

調査年		2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	
有効回答者の属性	有効回答者数(人)	649	792	1,018	1,490	1,226	1,568	1,848	2,318	3,241	
	有効回答者数の全カード会員に対する比率	0.5%	0.7%	0.5%	0.7%	0.4%	0.3%	0.3%	0.4%	0.4%	
	性別(比率)	男性	91.4%	92.2%	93.3%	94.4%	94.0%	93.4%	93.2%	93.6%	93.9%
		女性	8.6%	7.8%	6.7%	5.6%	6.0%	6.6%	6.8%	6.4%	6.1%
	年齢(30代~50代の比率)	87.6%	93.2%	86.4%	86.4%	75.1%	83.6%	79.7%	81.0%	79.1%	
	出張に伴う年間平均宿泊数	45泊	34泊	32泊	32泊	40泊	38泊	38泊	39泊	38泊	
	職業(比率)	会社員	85.7%	81.1%	78.4%	74.8%	74.7%	76.8%	74.0%	77.8%	77.1%
		自営業	3.5%	8.7%	8.2%	5.6%	5.3%	8.7%	10.8%	8.0%	8.1%
公務員		4.3%	3.9%	5.5%	3.6%	3.4%	4.7%	4.2%	3.8%	4.3%	
その他		6.5%	6.3%	7.9%	16.0%	16.6%	9.8%	11.0%	10.4%	8.8%	



Aカードとは:全国独立系ホテルを中心としたキャッシュバックポイントカードのサービスで、ポイント還元が現金で行われるなど、画期的なポイントシステムが注目されているサービスです。加盟ホテル・レストランも472店舗で、会員数は約80万人。主な利用者は30代~50代のビジネスパーソンで、特に出張の多いビジネスマンを中心に人気を集めております。

<この件に関するお問い合わせ先> 株式会社Aカードホテルシステム 担当/内藤・青田 aota@acard.co.jp TEL. 03-5755-5531